



豊里

元気な掛け声で熱戦繰り広げ

「ふるさとスポーツ祭豊里地区大会」は6月10日、豊里運動公園と豊里公民館で開かれ、ソフトボールとビニールバレーボールの2種目に15チームが参加し、熱戦を繰り広げました。

会場には選手の元気な掛け声が響き渡り、懸命にプレーする姿に、観客から大きな声援が送られました。ソフトボールは、接戦の末、横町が優勝。ビニールバレーボールは、昨年に引き続き新町が優勝し、3連覇を達成しました。

親子で触れ合い楽しく運動を

「おやこ健康体操教室」は6月22日、米山東幼稚園（後藤美和子園長、園児17人）で開かれ、園児とその保護者13組が参加しました。

教室では、講師が市内児童の肥満状況と食べ物に含まれる砂糖の量について説明。親子同士ペアになり、体を使った「あっちむいてホイ」や、忍者の動きに合わせて手裏剣を避ける運動などをしました。参加者は体を動かしながら、親子で触れ合う楽しい時間を過ごしていました。



米山

彩り豊かな草花が来場者魅了

「第25回花季展」(石越コミュニティ運営協議会主催、佐々木敬次会長)は6月9、10の両日、石越公民館で開かれ、約100人の来場者が季節の草花を鑑賞しました。

会場には、石越町さつき盆栽山野草愛好会の皆さんが育てた赤、ピンク、白の花を咲かせたさつき、盆栽、山野草など大小合わせて50点ほどの作品が展示。さつき作り相談コーナーも設置され、盆栽愛好家たちは手入れや枝切りなどの情報を交換しながらお互いに交流を深めました。



石越

華やかな共演に目を楽しませ

「みなみかた花菖蒲まつり」は6月17日、花菖蒲の郷公園で開かれ、約250種類60万株のハナショウブの花が訪れた見物客の目を楽しませました。

園内の茶室ではお茶が振る舞われ、広場では歌やヒップホップダンス、よさこい踊りなどのステージイベント、大道芸人のアトラクションなどが披露。ジュニアリーダーによる水ヨーヨー釣りやわたあめの無料配布なども催され、来場者は楽しい一日を過ごしました。



南方



津山

聞いて見て触れて社会科見学

横山小学校3年生の「社会科見学」は5月22日、学校支援ボランティアの堀田公雄さん＝津山町横山2区＝が所有するワサビ田で行われ、4人の児童が参加しました。

ワサビの栽培は、約30年前に堀田さんの父親が始めたもの。沢水を引き、農業や肥料を一切使用せずに栽培しています。子どもたちは、水温管理、病気予防に苦労している話や、豊かな森林が栄養豊富な水を生む話に真剣に耳を傾け、分からないことをたくさん質問していました。

9 TOWNS TOPICS

9つのまちのホットな話題をお届けします



迫

迫町4地区で市民運動会開催

迫町4地区(森、佐沼、北方、新田)の「市民運動会」(各地区実行委員会およびコミュニティ推進協議会主催)は6月10日、町内の各会場で開かれ、参加者は運動を通じて交流を深めました。

市民運動会は、市民の親睦融和、健康増進が目的。当日はあいにくの曇り空で、小雨が降るなど肌寒い天候でしたが、リレーや二人三脚など元気いっぱい競技しました。応援にも力がこもり、客席からは声援が飛び交っていました。

大きな声援送り親睦を深める

「とよま地区市民体育大会」(とよまコミュニティ運営協議会主催、佐藤貞一会長)は6月17日、登米小学校で開かれ、参加者は心地よい汗を流しました。

市民体育大会は、町内の16スポーツチームから約800人が参加。リレーや玉入れ、むかで競争など12種目で競いました。熱戦が繰り広げられると、選手にひととき大きな声援が送られ、地区内の親睦を深めました。白熱した競技の結果、団体が小島スポーツチームが優勝を勝ち取りました。



登米



東和

歴史に触れながら自然を満喫

「第34回キリシタンの里まつり」は6月3日、米川綱木農村公園で開かれ、約500人が訪れました。

隠れキリシタンの史跡の「三経塚」では、カトリック教徒が献花。まつり会場では、歌謡ショーや郷土芸能、よさこいソーランなどのステージ発表が披露されたほか、地元産の野菜や陶芸品などの特産品が販売されました。会場前の川では、魚のつかみ取りが催され、参加者は歓声を上げながら、逃げる魚を追い掛けていました。

さなぶり祭りに願いを込めて

「平成30年度さなぶり祭り」(中田文化協会主催、小野寺俊彦会長)は6月10日、中田農村環境改善センターで開かれ、約300人が来場しました。

さなぶり祭りは、田植えを無事に終えたことを祝い、豊作への祈りを込め毎年開かれている催しで、30組が演目を披露。力強い民謡の歌声や華やかな舞踊、地元チームによる迫力満点のよさこい、今回初登場のフラダンスに、来場者から大きな拍手が送られました。



中田